

いずみさの教育NOW

問合先
学校教育課

子どもの成長を支える生徒指導

昨年12月に改訂された生徒指導提要では、生徒指導上の子どもたちへの関わり方において、周りにいる大人が「子どもたちの成長を支える」ということが大きなテーマとなっています。

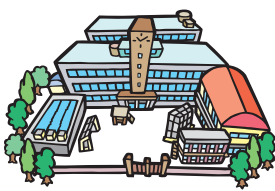
学校における生徒指導とは、「児童生徒が、社会の中で自分らしく生きることができ存在へと、自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動のこと」と定義されています。また、その目的は、「児童生徒一人ひとりの個性の発見と、長所や可能性の伸長と、社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支えること」とされています。

子どもたちの多様化が進み、様々な困難や課題を抱えている子どもたちも少なくありません。すべての子どもたちが、安心・安全だと感じる学校づく

りを実現するためには、学校だけでなく、家庭や専門性のある関係機関、地域などの協力を得ながら、子どもたちが抱えている悩みや課題を受け止め、いつでも相談できる環境をつくる必要があります。

このように、子どもたちに関わる大人が同じ想いをもって連携し、社会全体で子どもたちの成長を見守り、支えていくことによって、子どもたちが自分らしく生きていくことができるようになると考えています。

本市としては、子どもの成長を支える生徒指導を推進し、学校が子どもたちにとっての居場所と感じられるよう取組をすすめていきます。



学校園紹介

顔と顔が見える関係づくり ～第三中学校～



今年度、春に4年ぶりに対面で全校集会を実施することができました。昨年度までの3年間はオンラインでの開催だったので、久しぶりに全校生徒の顔を一齐に見ることができ、素晴らしい全校集会でした。

全校集会では子どもたちに以下の3点を伝えました。

- 第三中学校は「人権」を大切にしている
- 「感じて・考えて・行動する」
- 「練習常善（練習で日々最善を尽くすことが最も尊いということ）」

この1年間は、これらの3点を目標により良い第三中学校をつくっていきたいと考えています。昨年度から引き続き、環境浄化活動や環境美化清掃活動で、清掃活動や花壇の花植え、草刈りなどを行い、「お互いの顔と顔が見える関係作り」をすすめていきます。



安全で楽しい水泳指導を！ ～第二小学校～

6月中旬から学校プールでの学校水泳授業が行われました。

今年度も昨年同様、学校水泳開始前に、大阪体育大学准教授の浜上先生を講師として、水泳指導理論の講義と学校プールでの実技研修を校内研修として2回実施しました。陸上監視も含め、児童の安全管理を第一に考え、万全の計画の上で安全で楽しい水泳授業が行われました。夏休み直前の7月18日には全校児童に向けた水難防止教室も体育館で実施され、笑顔があふれた学校水泳期間も無事に終わりました。

二学期も、元気な子どもたちと会えることを楽しみにしています。

